

2021 年度

講義科目名称： 考古学資料論

授業コード： 31029

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期：水曜1限			
配当学科・学年			
歴史2			
担当教員			
犬木 努			
添付ファイル			

授業テーマ	考古学の方法論および考古遺物の製作技術について
講義概要	①考古学の方法論について学ぶ。 ②さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術、変遷観・年代・使用法・分布・歴史的意義などについて概観する。
到達目標	・考古学の方法論に関わる基礎概念について説明することができる。 ・さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術の特徴について説明することができる。
評価方法	・評価は、平常点（20%）、レポート（10%）、学年末に行う筆記試験（70%）によって行う。
フィードバックの方法	・質問に対しては、次回の授業時に全体に向けて回答・説明し、必要に応じて質問者に個別に回答・説明する。
評価基準	・考古学の方法論に関わる基礎概念について適切に説明することができる（秀）。 考古学の方法論に関わる基礎概念について概ね適切に説明することができる（可）。 ・さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術の特徴について適切に説明することができる（秀）。 さまざまな考古遺物について、材質別に製作技術の特徴について概ね適切に説明することができる（可）。
テキスト	・使用しない。講義中にプリントを配布する。
参考書	・講義中に適宜指示する。
履修上の注意	・私語など授業態度の悪い学生は、教室の外に出てもらうことがある。
準備学習<予習・復習の時間・内容>	・2単位の修得には、授業時間以外に、1回の授業について4時間の事前・事後学習が必要です。この教科については、以下の方針に基づき、事前学習（予習）と事後学習（復習）に取り組んでください。具体的内容については、tani-WA上で指示します。 〔予習〕考古学資料論の授業内容に関して、あらかじめ指示された課題について資料を収集する。 〔復習〕考古学資料論の授業内容に関して、授業時に学習した内容について再確認する。
オフィスアワー等	・質問については、授業終了後のほか、水曜4限に個人研究室において受け付ける。
備考・メッセージ	・特になし。
ディプロマポリシー	歴史：DP3
科目ナンバリング	歴史：HI-E-HB2003

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
第1回	講義	犬木 努	考古資料についての基本知識	当該内容について適切に理解できる。		
第2回	講義	犬木 努	型式論とはなにか？ (1)	当該内容について適切に理解できる。		
第3回	講義	犬木 努	型式論とはなにか？ (2)	当該内容について適切に理解できる。		
第4回	講義	犬木 努	層位論とはなにか？ (1)	当該内容について適切に理解できる。		
第5回	講義	犬木 努	層位論とはなにか？ (2)	当該内容について適切に理解できる。		
第6回	講義	犬木 努	土器の製作技術（1）	当該内容について適切に理解できる。		
第7回	講義	犬木 努	土器の製作技術（2）	当該内容について適切に理解できる。		
第8回	講義	犬木 努	青銅器の製作技術（1）	当該内容について適切に理解できる。		

第9回	講義	犬木 努	青銅器の製作技術（2）	当該内容について適切に理解できる。		
第10回	講義	犬木 努	鉄器の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第11回	講義	犬木 努	石器の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第12回	講義	犬木 努	石製品の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第13回	講義	犬木 努	石製模造品の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第14回	講義	犬木 努	瓦の製作技術	当該内容について適切に理解できる。		
第15回	講義	犬木 努	まとめ	本授業の内容について総合的に理解できる。		

#### 授業方法

	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	視聴覚教材および配布資料を使用	90分×15回